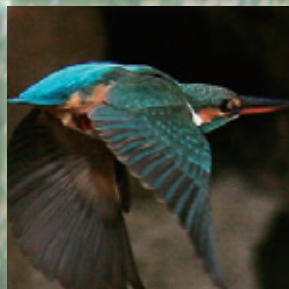


岡山県自然保護センター



ここには昔から変わらぬ自然の営みがある。

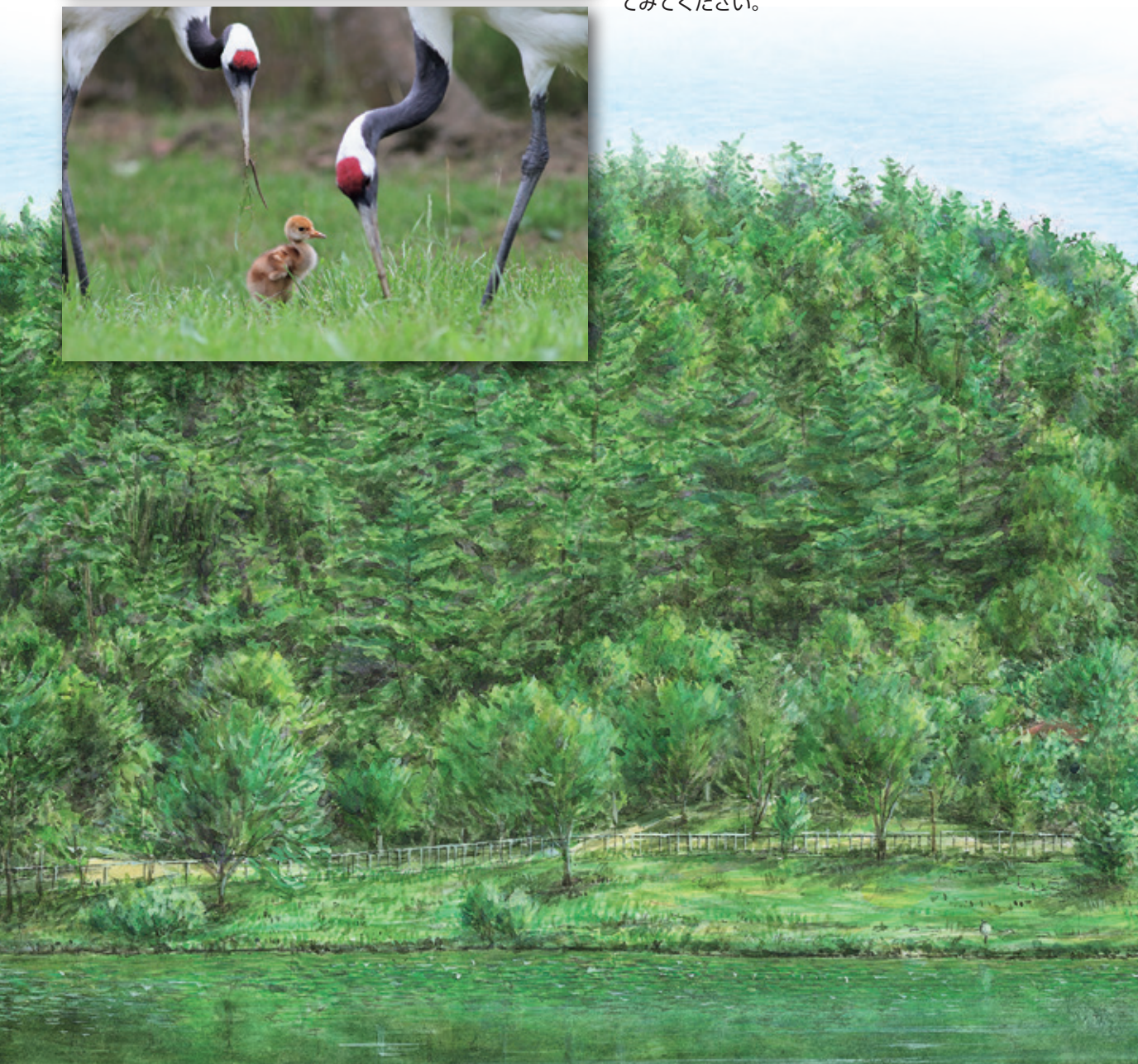


タンチョウ飼育施設

タンチョウはツルの仲間で、数が少なく、明治時代からの乱獲や環境の変化などで、一時は絶滅も心配されました。現在は国の特別天然記念物として大切に護られています。日本では、北海道で野生下のタンチョウが生息しており、主に釧路湿原で見ることができます。

岡山県の後楽園をはじめ、各地の動物園で飼育されていますが、センターの豊かな環境をタンチョウの増殖・育成に生かせればという願いから、この飼育施設がつくられました。

種の保存ということを通し、自然保護について考えてみてください。





センター棟

私たち人間も、地球に暮らすたくさんの生命と同じ仲間です。よりよい未来や、真の豊かさとは何かを考え、自然を大切にする生き方をしたいものです。

センターは、自然とのふれあいを通して「自然保護」の心を、多くの人たちに理解してもらうために設立されました。池や緑の木々に囲まれたセンター棟には、皆さんが十分に自然と親しめるよう、自然観察の方法や、植物、動物などの生きものの情報を紹介しています。

また、自然についての専門知識を持ったスタッフがいるので、いろいろな質問をしてみてください。共に学んでいきたいと考えています。



企画展示

ギャラリースペースを使い、写真コンテストの作品展示や様々なテーマに基づく企画展示を不定期で開催しています。他団体の活動紹介も含めた交流の場となっています。



湿原に、原っぱに、そして こもれびの森に、命の歌がきこえてきます。

自然保護センターは、吉井川中流県立自然公園の一角にあり、二つの池を中心になだらかな山なみに囲まれた約100ヘクタールの自然観察フィールドです。

自然に親しみ、多くの生きものと友だちになってもらえるよう虫の原っぱ、昆虫の森、湿生植物園、野草園、水生植物園などを整備しています。

特に、湿生植物園では、開発で消滅することとなった県内の湿原から、貴重な湿生植物を移植して保護しています。



緑のかおりを全身にあび、自然と一体になる自然観察路4つのモデルコース



◎のんびりコース(5km/3~5時間)

センターのすみずみまで、時間をかけてゆっくりと観察するコースです。



◎見どころコース(4km/約3時間)

センターの見どころをピックアップした観察コースです。



◎誰でもコース(3km/約2時間)

坂道が少なく高齢の方も比較的楽に回れるコースです。



観察会風景



見晴らし台



いっぶく広場



水生植物園



エントランス広場

●最短コース(1.5km/約1時間)

ほんの序のロコースです。次回は弁当、水筒を持参して、ゆっくりと観察してください。



郷の茶屋



駐車場(無料)

そっとのぞいてごらん そこには自然の のびやかな姿が見えてくるよ。

静かに水を湛えた池の周りに広がる草地や湿原の可愛い花。それを取りまく里山のたくましい生命力。その中を気ままにとびまわるトンボやチョウ、樹液を吸う甲虫の仲間、小鳥の声そしてキツネやイタチなどの小動物、このフィールドには様々な生きものたちがたくましく暮らしています。

皆さんは何種類の生きものたちと出会えるかな。

なにが、どんなところで、どのように暮らしているか不思議や疑問をいっぱい見つけるのが自然観察です。

春夏秋冬、いろいろな表情で迎えてくれる楽しい仲間たちに、さあ会いにいこう。

ハッチョウトンボ ▶

体長2cm足らず。最も小さなトンボです。からだに黄と褐色と黒のもようがあるのが雌。雄はオレンジ色から、成熟するにつれあざやかな紅赤色になります。



サギソウ ▲

ラン科の湿生植物で、開花は真夏。サギが羽をひろげたような形の、美しい純白の群れが、湿原をいろどります。

サギソウが見頃となる8月中旬は特別にお勧め。



トキソウ ▶

5月のおわりから6月にかけて、ピンク色の花がひらく、ラン科の湿生植物です。花の色が鳥のトキに似ていることから、この名がつけられました。



▲ 湿生植物園

湿地は、自然の中でもデリケートな環境です。そこでは、トキソウやサギソウ、ハッチョウトンボなど希少動植物が生息生育しています。

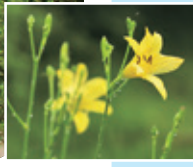


ノハナショウブ



サワギキョウ

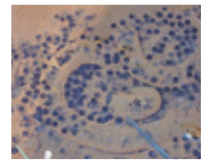




ユウスゲ



マツモムシ



ニホンヒキガエルの卵塊

ルリタテハ ▼
はねは青みをおびた黒色であわい青色の独特のもようがあります。樹液や熟した果実の汁を吸い、成虫のまま冬を越すチョウです。

◀ 虫の原っぱ

草原には様々な昆虫がいます。低い草原、背の高い草原、そして池の中…住む場所もいろいろです。どんな昆虫が、どのように暮らしているのでしょうか。池の中もさがしてください。

浅い水辺では池の中の生きものが観察出来るよ。

樹液に集まる昆虫や水辺の動植物を目をこらして探してみましょ。小鳥の囁きに耳をすませてみましょ。



昆虫の森 ▲

森林性昆虫が生息しやすいよう樹林を育て、流れを設けています。また水辺の動植物観察のため、岸辺に木道を設けています。

森にはたくさんの野鳥たちが集まるよ。驚かさないうに静かに観察してね。



ヒヨドリ



ヤマガラ



コゲラ



オオムラサキ



キビタキ



ノコギリクワガタ



◀ カワセミ

水辺を好み、大きさはほぼスズメと同じ。美しいコバルト色の背と、下側がオレンジ色のくちばしが特徴で、小魚などを食べます。

●交通案内



岡山市中心部から車で約50分
JR万富駅からタクシーで約20分、JR和気駅から約25分

●利用案内

- 休 所 日 毎週火曜日（祝日を除く）
祝日の翌日（土・日・祝日を除く）
年始年末（12月28日～1月4日）
- 開所時間 午前9時から午後4時30分
- 入 場 料 無料
- 駐 車 場 普通車79台 バス13台

※足が不自由な方には電動車椅子を用意しています。
※20名以上で利用の場合は事前に申し込んでください。
希望によりスタッフ等が案内します。

（お願い）

1. ペットなどは連れて入らないようにしてください。
2. ゴミは持ち帰ってください。
3. 自然保護センター内では自転車のご利用はご遠慮ください。
4. 喫煙は休憩所など定められた所でしてください。
5. 動物や植物は採らないでください。
6. 湿地内には立ち入らないでください。
7. 大きな声や音を出さないでください。

自然観察会の開催

センター内の自然をテーマにした様々な観察会を開催しています。詳しくは下記へお問い合わせください。ホームページをご覧ください。



問い合わせ・利用申込先

岡山県自然保護センター

〒709-0524 岡山県和気郡和気町田賀730
TEL 0869-88-1190 FAX 0869-88-1195

※カーナビの電話番号検索は0869-88-1186（郷の茶屋）

<https://okayama-shizenhogo-c.jp>

